

患者さんへ

肥満症外来 (OB (obesity) 外来) のご案内

2025年10月

みさと健和病院 腎・糖尿病内分泌内科

当院では、2025年10月より肥満症治療薬の使用も含めた、**肥満症外来(保険診療)**を開設いたします。

肥満症治療の基本は食事療法と運動療法にあります。それだけでは効果が不十分な患者さんに対して、肥満症治療薬として、2024年2月に持続性GLP1受容体作動薬「ウゴービ®(一般名:セマグルチド)」が、2025年4月には持続性GIP/GLP1受容体作動薬「ゼップバウンド®(一般名:チルゼパチド)」が発売されました。いずれも週1回投与の注射製剤です。

詳細につきましては以下をご参照ください。

医学的な条件を満たす方のみ対象となります。

該当される方で、当肥満症外来の受診をご希望の方は、**かかりつけの医師にまずはご相談いただき、かかりつけ医療機関より、当外来へご紹介いただきますようお願い申し上げます。**

◇当院の肥満症外来の対象となる患者さん

まず、**BMI**(Body Mass Index)を求めます。(※ BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))

対象となる患者さんは、以下 I、IIのいずれかに該当する方のみです。

20歳以上、BMI 27以上 の方で、

I. BMI 35 以上の場合 → 高血圧症、脂質異常症のいずれか、あるいは両方を有する方

II. BMI 27 以上 35 未満の場合

→ 高血圧症、脂質異常症の両方を有する方

または

高血圧症、脂質異常症のいずれかを有し、かつ、下記の疾患を1つ以上有する方

耐糖能障害(糖尿病の診断までには至っていない)

高尿酸血症・痛風

冠動脈疾患

脳梗塞

非アルコール性脂肪性肝疾患

月経異常・女性不妊

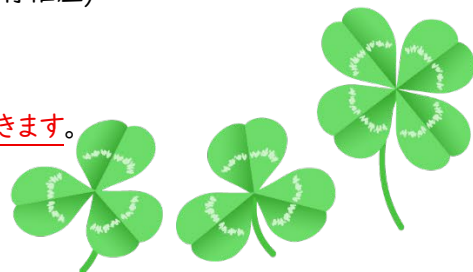
閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群

運動器疾患(変形性関節症:膝・股関節・手指関節、変形性脊椎症)

肥満関連腎臓病

※糖尿病の方は、当面、当院肥満症外来では対象外とさせていただきます。

※妊娠中の方、母乳を授乳中の方は対象外になります。



【対象となった方へのご案内】

1. 当肥満外来診療の目的は、単なる「ダイエット」目的ではなく、肥満症という疾患の治療です。
2. 外来診察日： 第1もしくは3火曜日の午後（14:00～16:30）
3. まず、2か月に1回以上の食事指導・運動指導を6か月間行い、十分な効果が得られない場合に、薬物治療（週1回の注射薬を患者さんご自身で打ちます）を開始します。
薬物治療開始後も食事指導・運動指導は定期的に継続します。
治療期間は最大で約2年間を予定しています。
4. 薬物治療の開始後に、副作用（胃腸障害など）が強い場合、投与の中止を検討させていただきます。
5. 減量効果が認められない場合も、薬物治療の中止を検討させていただきます。
6. 高血圧症、脂質異常症の治療薬に関しましては、肥満症外来終了までの間は当院で処方させていただきます。
なお、肥満症の薬物治療の開始に当たっては、高血圧症、脂質異常症の少なくともいずれかに対しては薬物治療が行われていることが条件となりますので、ご了承ください。
また、肥満症外来終了後の通院は原則として、かかりつけの医療機関・担当医へ改めてご紹介させていただきます（逆紹介）。
7. 当外来初診時に、二次性肥満（特に内分泌性肥満）のスクリーニング（疑われる患者さん対象）を含めた血液・尿検査を実施いたします。
また2回目以降の外来でも適宜、血液・尿検査を実施いたします。
なお必要に応じて、胸部レントゲン、心電図、内臓脂肪測定（CT）等の検査を追加いたします。
8. 受診時にかかる時間（目安）は、初診時：約90～120分、再診時：約60分を予定しております。
なお、患者さんの症状や診療の内容によって、呼びする順番が前後することがございます。ご了承ください。
9. 治療費について（保険診療）
保険適用（3割負担）の場合、1回あたり10,000～20,000円程度が目安です
（薬剤費・診察料等含む）。
詳しくは診察時にご説明いたします。

【お問い合わせ先】

みさと健和病院 患者サポートセンター・地域医療連携室

TEL:048-955-7252（平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00）

FAX:048-955-5120